



## 身近な病気 ウイルス性肝炎

■問い合わせ いきいき健康課 ☎ 23-3220

WHO（世界保健機関）では、7月28日を「世界肝炎デー」、国内では「世界肝炎デー」と同日の7月28日を「日本肝炎デー」、また7月28日を含む月曜日から日曜日までの1週間を「肝臓週間」として、肝炎に関する普及啓発および情報提供を推進しています。

### 肝臓の働き

肝臓は右の肋骨の下に位置する、人間の体内で最も大きい臓器です。消化管から取り込んだ栄養を利用しやすい形に変えたり、毒物を分解したり、体内の物質のバランスを維持したりするなど、生命を支えるために重要な多くの働きを担っています。

### 肝臓の病気

日本では、年間約2万5,000人の人が肝臓がんによって死亡しています。その原因の約80%が肝炎ウイルスへの感染と言われ、そのほとんどは、B型・C型の肝炎ウイルスによるものです。しかし、肝臓は、『沈黙の臓器』と言われ、ウイルスに感染していても、自覚症状がないまま病気が進行する恐れがあります。

### なぜ肝炎ウイルス検診を受けた方がいいの？

B型・C型肝炎ウイルスは、肝臓にすみついて、慢性肝炎になる可能性が高く、肝硬変・肝がんに進行的することもあります。日本のB型・C型肝炎ウイルスの患者・感染者数は、合わせて300万人以上とも推定され、肝炎は、国内最大の感染症と言われるほど「身近な」病気です。B型またはC型肝炎ウイルスに感染しているかどうかは、検診（血液検査）をしない限りは分かりません。

ただしウイルス性肝炎は、今日多くの原因ウイルスと感染経路が判明し、発症の仕組みも解明され、さまざまな治療法が研究・開発されています。

もし、肝炎ウイルスに感染していても、早期に適切な治療を行うことで、肝炎を治癒し、あるいは、肝硬変や肝がんへの悪化を予防することが可能です。

## 安来市の肝炎ウイルス検診

ウイルス性肝炎の早期発見・早期治療のため、今年度も7月から次のとおり肝炎ウイルス検診を実施します。詳細は「令和4年度健診のしおり」（広報やすぎ6月号とあわせて配布）をご覧ください。

**対象** 40歳以上（昭和58年3月31日以前に生まれた人）で過去に肝炎ウイルス検診を受けたことがない人



**受診方法** ①医療機関（健診のしおり参照）で受診 ②集団特定健診（7月20日、9月2日、10日）または、後期高齢者健診（9月2日、10日）とあわせて受診

受診を希望する人は、まず、いきいき健康課へお問い合わせください。受診歴を確認した上で、該当の人には、「肝炎ウイルス検診記録票」をお送りします。

**検査方法** 血液検査

B型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルスの感染の有無を調べます。

**料金** 無料

**期間** 令和4年7月1日（金）から令和5年2月28日（火）まで

一生に1度は  
肝炎ウイルス検診を受けましょう！

☎ いきいき健康課 ☎ 23-3220